

見出しから探るフィンランド⑮

「フィンランド人の祖先はシベリアに？」

『フィンランド語との対話』 <<https://yoshidakingo.com>>

- > 「Ⅶ. フィンランド語学習教材」
 - > 「見出しから探すフィンランド（動画）」
 - > 「動画」「PDF」
-

見出しから探すフィンランド⑮

「フィンランド人の祖先はシベリアに？」

A. Otsikko (1) 「見出し (1) 」

**Suomalaisten omintakeinen geeniperimä sai uuden selityksen,
esivanhempia eli Siperian perukoilla**

[<https://www.hs.fi/tiede/art-2000011379905.html>: 2025 年 7 月 28 日]

フィンランド人たちの | 独自の | ゲノム (遺伝情報の全体)
は | 得た | 新しい | 説明を | 、祖先たち (の一部) は | 生き
ていた | シベリアの | 奥地で。

B. Otsikko (2) 「見出し (2) 」

Suomalais-ugrilaisia kieliä puhuvien esivanhempia eli 4 500 vuotta sitten Jakutiassa, joka on lähempänä Japania ja Alaskaa kuin Suomea.

フィン・ウゴルの | 諸語を | 話す人々の | 祖先たち (の一部) は | 生きた | 4500 | 年 | 前に | ヤクーティア (サハ) で | 、それは | ある | [より近くに | 日本の | そして | アラスカの] | [よりも | フィンランドの] 。

C. シベリア系遺伝子の量

Siperialaisen perimän määrä suomalais-ugrilaisten kielten puhujissa vaihtelee. Saamelaisilta sitä löytyy kaikista eniten, mutta virolaisilla sitä on vähemmän, vain noin kaksi prosenttia.

フィン・ウゴル諸語の話者がもつシベリア起源の遺伝情報の量は、（集団により）異なっている。それはサーミ人たちの中にもっとも多く見つかるが、エストニア人の中には約2パーセントしか存在しない。

D. ハンガリー人にはシベリア系遺伝子はほぼない

Sukukieltä puhuvilta unkarilaisiltakin se on hävinnyt lähes kokonaan.

（フィンランド語との）親縁言語を話すハンガリー人たちからも、シベリア起源の遺伝情報はほぼ完全に消え去っている。

E. 氷河期後にやってきた狩猟採集民は「謎」

Metsästäjä-kerääjät asuttivat Suomen ja Itämeren aluetta jo pian jääkauden jälkeen. Heidän puhumansa kieli on mysteeri, ja geeneistäkään ei tiedetä juuri mitään, Salmela sanoo.

（シベリア系の遺伝情報が到達する以前の）氷河期後まもなく、フィンランドやバルト海地域には狩猟採集民が定住したが、彼らの言語は謎のままであり、遺伝子についても何も分かっていないと（研究者である）Salmela は述べている。

F. フィンランド人の中のシベリア系遺伝子

Tutkimuksen mukaan noin 10 prosenttia suomalaisten perimästä on jakutialaista alkuperää.

研究によれば、フィンランド人たちの遺伝情報のうち約 10 パーセントがヤクーティア（サハ）、（つまりシベリア）起源である。

G. フィンランド人の遺伝情報は「混合物」

Populaatiogeneetikko Elina Salmelan mukaan suomalaisten geeniperimä on sekoitus eri lähteistä, mutta sisältää myös siperialaista dna:ta.

集団遺伝学者 Elina Salmelaによれば、フィンランド人たちの遺伝情報はさまざまな起源をもつものの混合物であるが、シベリア系の DNA をも含んでいる。

H. 遺伝子情報は「ニシンサラダ」

Nykyisten suomalaisten geeniperimä onkin **sillisalaatti**. Se sisältää jakutialaista dna:ta, mutta suurin osa perimästä on peräisin lähempää, Salmela sanoo.

現在の | フィンランド人たちの | 遺伝情報は | である・実際に | ニシンサラダ（いろいろなものが混ざったもの）。それは | 含む | ヤクーティア（サハ）起源の | DNA を |、しかし | [もっとも大きな | 部分は | 遺伝情報のうち] | である | 起源の | より近くから |、Salmela は | いう。

*** 参考**

①英語記事のタイトル

Ancient DNA solves mystery of Hungarian, Finnish language family's origins

Parent emerged over 4,000 years ago in Siberia, farther east than many thought, then rapidly spread west

**(<https://news.harvard.edu/gazette/story/2025/07/ancient-dna-solves-mystery-of-hungarian-finnish-language-familys-origins/>:
2025 年 7 月 16 日)**

②ウラル語族／フィン・ウゴル諸語

◎ウラル語族

- サモエード語派

- フィン・ウゴル語派

 - ウゴル諸語

 - ハンガリー語

 - ハンティ語、マンシ語

 -

 - フィン・サーミ諸語

 - サーミ諸語

 - バルト・フィン諸語

 - フィンランド語、エストニア語、カレリア語.....

◎補足

●分類の重要性／分類の危うさ

「人種」は存在するのか／「民族」という虚構

（小坂井敏晶『民族という虚構』ちくま学芸文庫）

「言語」（言語と方言／「膠着語」や「屈折語」）

（「フィンランド語文法：豆知識⑩」）

●「フィンランド人／フィンランド語」の起源をどこに求めるのか

●「フィンランド語」と「フィンランド人」を同一視してはいけない

I. 遺伝子と言語とはまったく別のもの

Salmelan mukaan geeneistä ei voida tietenkään lukea, mitä kieltä ihminen on puhunut. Kieli ja geenit eivät siis kulje käsikkäin.

Salmela の | よれば | 遺伝子から | できない | もちろん | 読む | 、何の | 言語を | 人が | 話してきたのか。言語は | そして | 遺伝子は | つまり | 動かない | 手に手を取って。

★フィンランド語の形成に興味があれば

「I-1. フィンランドにおける言語史ーフィンランド語
はフィンランドで生まれた」
(<https://yoshidakingo.com/finlandwokouseisuruhitobito/>)